

新年あけまして

おめでとうございます。

昨年一年もコロナ禍の中、保護者の皆様や地域の方々の御理解と御協力のおかげで、感染対策や制限もありながら、子どもたちとともに、豊かな南小学校の歴史を刻むことができました。

残された本年度も三ヶ月となりました。学校は毎年同じ教育の繰り返しですが、教育とは人間同士の営みですから、本年もまだ達成できていないこともたくさん挙げられます。

子どもたちにとって繰り返し返すことができない大切な一年。そして年度当初に掲げた「みんなでつくる みんなの南小学校」の仕上げる時期です。残された課題は何か？みんなが点検・整理をして、その解決に力を合わせましょう。本年もよろしく願いいたします。

## 「潔く」くらしよう

テレビ番組も歳を取ると騒

がしいバラエティーよりも、昔見た時代劇の再放送の方が気が休まります。代表的なのが「水戸黄門」。封建的な時代の描き方の是非は別にして、悪事がばれて素直に頭を下げる姿は安心するものです。しかし、シリーズが進むと、その姿に少し変化が見られます。ひれ伏して「一件落着」するはずが、「えーい。こいつはご老公の偽物じゃー」と、相手が開き直って向かってきます。この演出が時代の流れに合わせたとすれば残念なことです。

「証拠が出るまで黙ってなさい。」「他の子もいたの？自分だけが認めたら損よ。」などと言いきかせる親がいるでしょうか。

「道徳の時間」が学校で始まって60年余り。そのずっと以前から「正直」「誠実」は「人としての教え」として大切にされてきたはずで

親も「勉強はできなくても、これだけはできる子にっ」と

厳しく教えてきたはずで。しかし、社会の風潮はどうでしょう。ニュースなどを見ると、逮捕まで至った容疑者の「言い訳」や「あきれた理屈」、時には自己の「不満解消」や社会への「責任転嫁」とも思えるコメントが聞こえてきます。

(ここでは一部の報道のみを取り上げて述べることをお許しく下さい。)

それらを目にするたびに、職業柄「どんな教育を受けてきたんだっ。」と怒りがこみ上げ、無力さをかみしめます。

学校でも同じようなことは起こります。最近の事ではありませんが、だれがしたのか分からないトイレの落書き。幸いに人を攻撃する目的ではなく、ほんのいたずら書きのようですが、みんなの物を勝手に汚したことは公共心に反します。

先生方には、事の大小ではなく、誰がしたのか分からないような行為事態が不誠実で

あること、それが学校で起こっていることが一緒に学校をつくる仲間として残念であることを訴えてもらいました。しかし、自分から勇気を持って申し出る子はいません。

今は目に見える「落書き」はなくなり、トイレの壁はネット上の書き込みに変わったのでしよう。仲間をからかい、非難、攻撃、はじき出す行為が「自分を守るためだから」

と、あきれた理屈で正当化されるような別の世界です。古いと言われても、どうしても「潔さ」は取り戻したい。

失敗や「いたずら心」はだれにでもある。しかし、人に迷惑を掛けたら、素直に認めて謝ろう。不平や不満は勇気を持って伝えて伝えよう。「みんなでつくる南小」だから…。年頭に当たり自らも「潔し」を心に留めたいと思います。

## 配慮と警戒

今年の年末年始は、行動の自粛がこれまでより緩んだように思います。

第6波への可能性がなくなったわけではありません。学校でもこれまでと同様に、休業開けの体制強化を図ります。御協力のほどよろしくお願いいたします。

## 南小「フラワー・ボランティア」の活動

「フラワー・ボランティア」は、地域の方に御協力いただき、保護者や子どもと一緒に学校の環境作りを支援していただく集まりです。

7月に発足しましたが、その後、コロナのためになかなか活動ができませんでした。ようやく感染拡大が収まった昨年11月、卒業式に向けた鉢作りをしていただきました。時間がまだ早いから〜と、校舎南の草取りまでしていただき、いっぺんに学校がきれいになりました。



お孫さんが南小学校におられない方も大歓迎です。学校（教頭先生）にご連絡いただければ、いつでも登録可能ですので気軽にお問い合わせください。

南小学校 23-3520 うちくら教頭まで